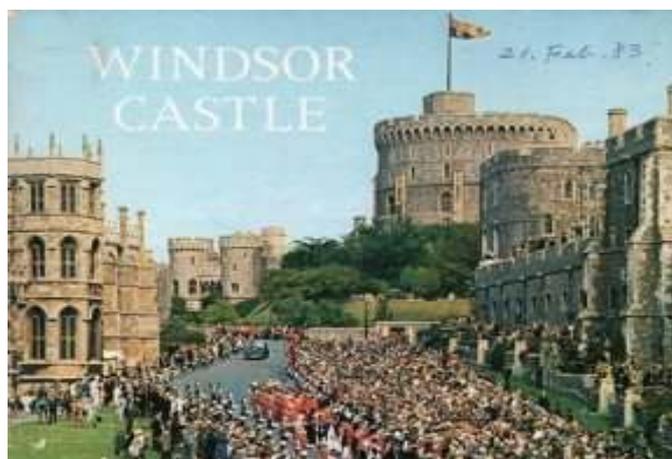
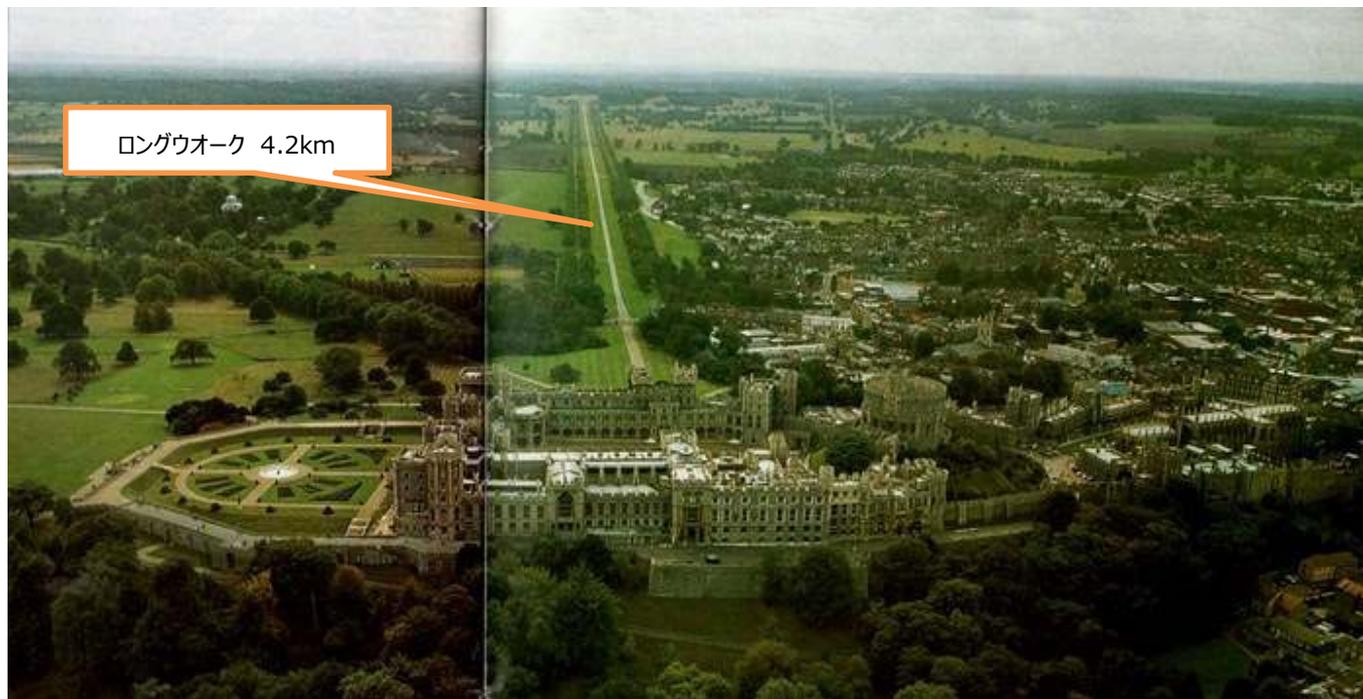


ノルマン様式の城郭巡り

1. ウィンザー城 Windsor Castle

◇ ウィリアム征服王が建設した土と木材の **motte-and-bailey** 様式の城で、34km 東のロンドン塔と 1 対で当時の重要な水路である**テムズ川**を護る軍事用施設であった。次第に石造りに改修され、200 年後のヘンリー3 世時代に宮殿が建設され住むようになり、現在**バッキンガム宮殿**、エディンバラの**ホーリールード宮殿**と共に王家の 3 宮殿を成す。



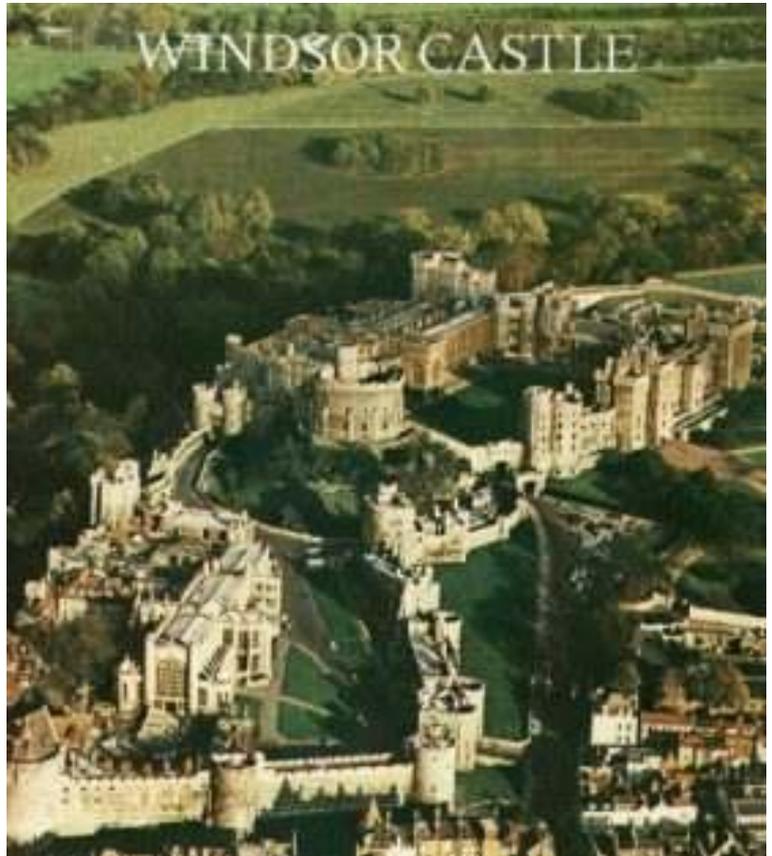
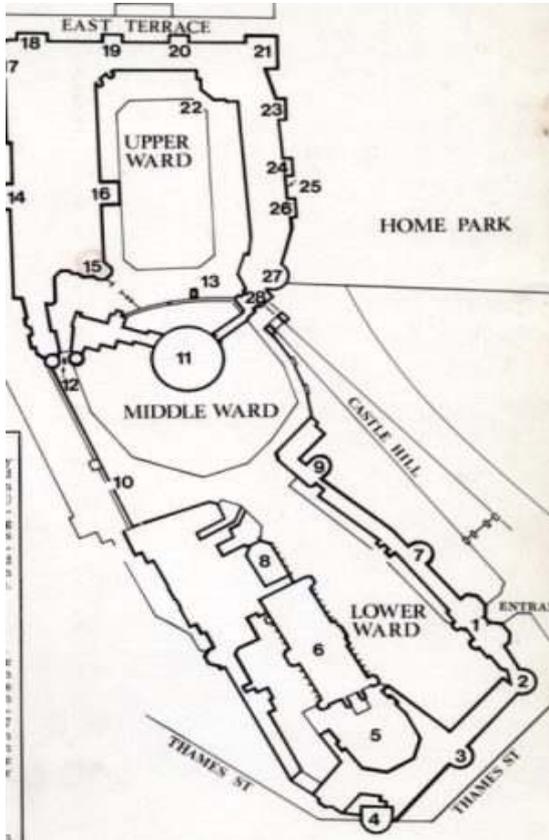
Motte は当初のまま、Keep 天守は石造り



Motte の周囲の ditch 堀は花壇 @2012 年 9 月

◇ ウィリアム征服王は、テムズ川からは**急斜面**で敵が侵入しにくいこの地を、ロンドンを中心とする地域の重要な軍事拠点と考へて、下図のように**3つの中庭 wardと天守 keepを持つ城**を建設した。イギリス王家は、初代のノルマン家から、プランタジネット家、テューダー家、スチュアート家、ハノーヴァー家、サクソ=コバーグ=ゴータ家と繋がったが、第1次世界大戦中の1917年に、敵国ドイツの領土名を捨てて、初代王朝の城の名前を使って、**ウインザー家**と改名した。

◇ 前ページの天守の上にはためいている旗は、**Royal Standard** 王室旗（=軍旗、右の写真）で、女王が城内にお住いである事を示している。不在の時はイギリス国旗に代わる。バッキンガム宮殿でもホーリールード宮殿でも同様である



出典 ガイドブック **Windsor Castle**, Pitkin Pictorials Ltd. 前頁の航空写真は「**Over London** by Uchicrome Ltd.」

2. ノルマン人が伝えた英語の **Castle** とイギリス南東部海岸沿いの**ノルマン様式の城郭の場所を示す地図**

◇ **Castle** という英語はノルマン征服後の1075年にイギリスに伝わった。それ以前は、**城も単語 Castle も無かった**。**要塞や砦**に対しては、ローマ帝国の公用語であるラテン語の **fortis** が原語であり、イタリア語の **forte** や古フランス語の **fort** を経由して、英語の fort になったが、これらは近代の城 castle とはニュアンスが異なる。

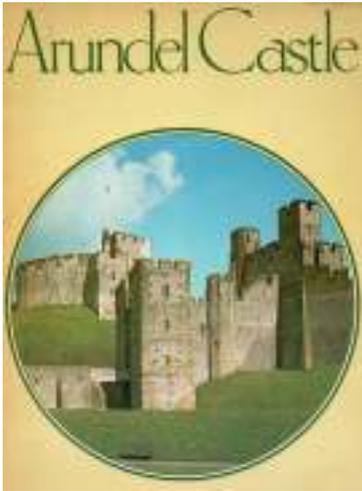
◇ これは、fortis よりも規模が小さな castrum 'fort' をさらに小さくした城で、ノルマン人の言語である古フランス語で castel と呼ばれていたものを、イギリス征服の9年後にノルマン人からイギリス人に castle として伝えられた。フランス語で chateaux (シャトー) となり、英語の chatelaine (jætlɛɪn 女城主) は chateaux の派生語である。

出典：イギリスの英語原語辞典 (**Dictionary of Word Origins** , Bloomsbury Publishing Plc)

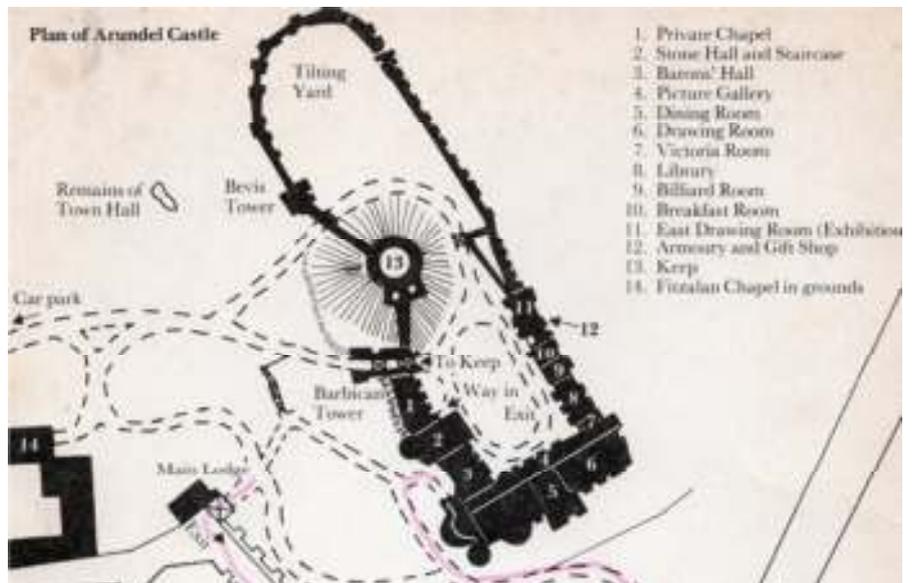


3. アランデル城 Arundel Castle

◇ アランデル城はウィリアム公が、イギリス遠征中にノルマンディー公国の留守を守った貴族ロジャー・ド・モンゴメリーに、翌 1067 年、褒美としてアランデル伯爵の称号と共に授けた城であった。ウインザー城と同じ時期に設計された motte and bailey 様式である事は両図を比較すれば容易に理解できる。資料の出典は 2003 年,2 回目訪問時のパンフレットである。

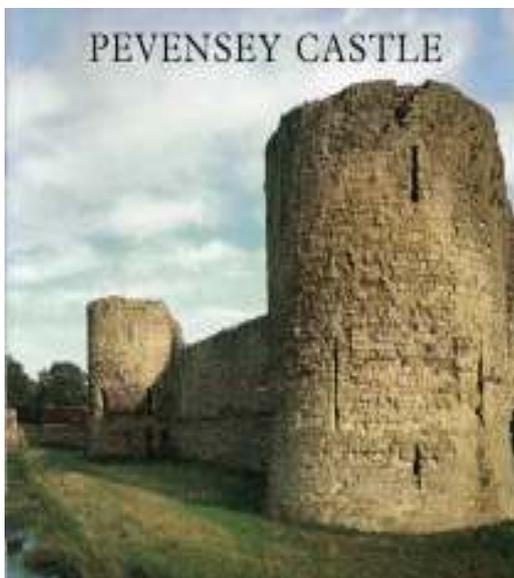


4



◇ ノルマン筆頭の部下ならば、サクソン王アルフレッド大王がいたウインチェスターを与えるべきと思うが、この話は今思いついたので、今後の投稿にしよう。

4. ペヴェンジー城 Pevensey Castle



2 万人のノルマン軍兵士を運んだ艦隊が最初に上陸したのがペヴェンジーの海岸であった。ローマ軍が建設したペヴェンジー城は廃墟となっていて宿泊できず、休憩の後はヘイステイングスに向けて行軍を続けた。全体を囲む外壁はローマ時代のものであり、内部の城壁は数年後にノルマン軍が修復した部分だが、これも後年の内乱等で破壊された。第二次大戦のドイツの侵略時にはイギリス軍が高射砲基地等として使用した。





左の小さな塔は、ノルマン軍上陸から900年経った1966年9月にエリザベス女王出席のもとに記念祭が行われた時の記念塔である。
イギリス王室は現在まで、1000年弱続いている・・・日本の皇室は長いですね～！！世界が驚いている。

5. ヘイステイングズ城 潮の干満の差が大きくて、何時でも急難ボートLifeboatが飛び出せる、波止場 pier から遠く Hastings Castle を望む



実際の戦闘 (Battle) が行われた平原は街になっており、名前を **Battle** バトルという、冗談みたいだけど、本当です。

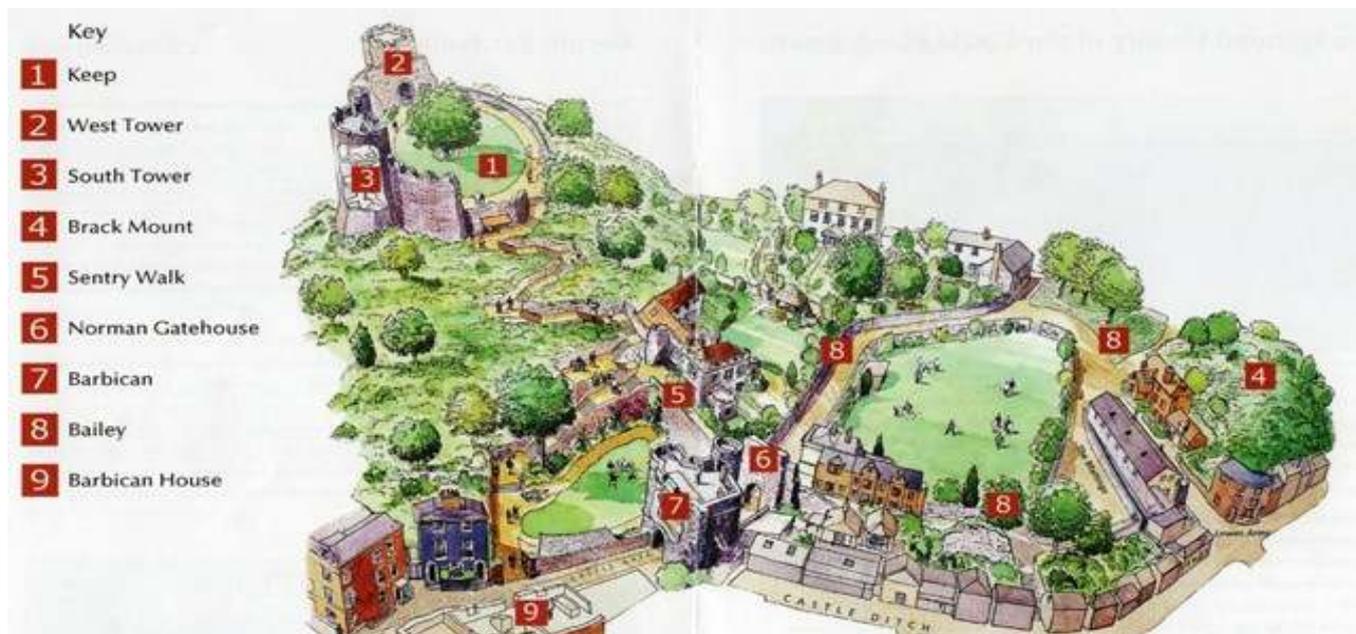
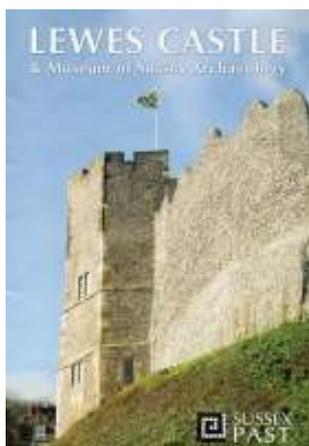
6. ドーヴァー城 Dover Castle

訪問時は大雨で良い写真が撮れず、パンフレットからコピーした



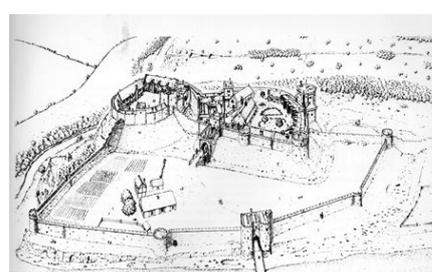
7. ルーイス城 Lewes Castle

ヘイスティングスの戦い後、征服を確実にする為に motte and bailey の城を建設



8. ノッティンガム城

1600年頃まで motte and bailey が維持されているがその後は破壊されている。



約 1200 年 motte and bailey

約 1300 年 motte and bailey

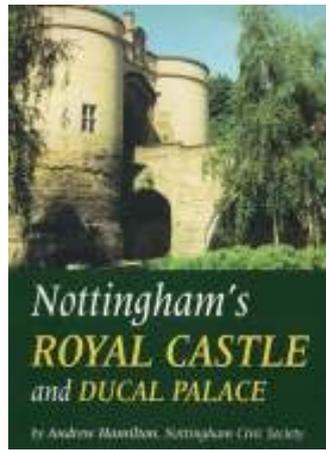
約 1500 年 motte and bailey

◇ ロンドンからヨークに行くローマ街道沿いにウィリアムが丘を発見して motte and bailey を建設した

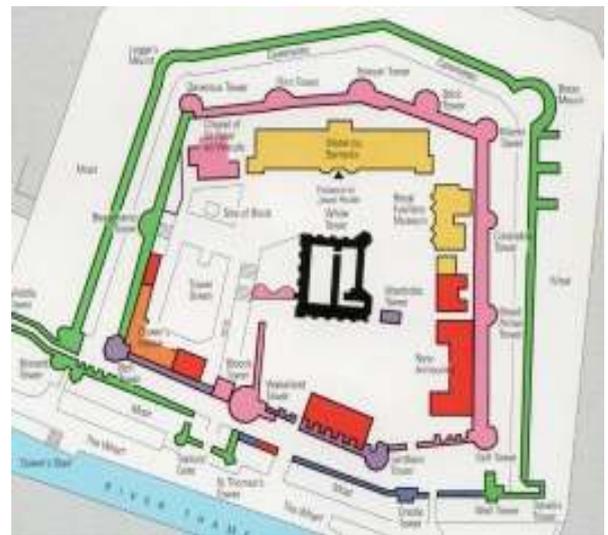
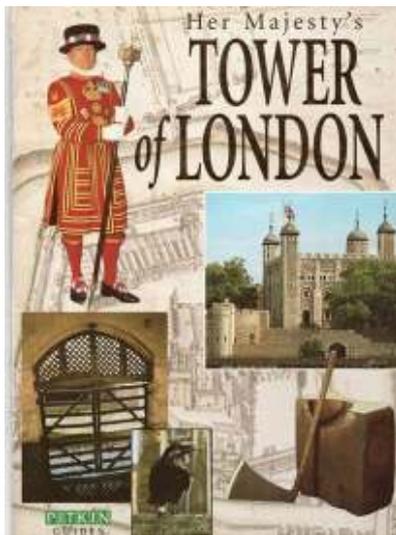


1600 年頃

右は 2000 年訪問時



9. ロンドン塔 アングロ・サクソン系市民を威圧する塔で建設に関わった歴代の王がリストされているが、誰も住まなかった。



◇ ローマ人が交易の中継地として建設した現在のシティーに住んだ王はいない。ノルマン朝のウィリアム征服王が建設を指示したロンドン塔も居住する宮殿でも軍事目的の城でもなかった。上図に示す通り 8 段階で建設されたきたが、ウィリアムが作った部分は中央の黒い塔（White Tower）だけ、しかも完成を待たずに逝去し息子のウィリアム二世が完成した。



ローマ時代のロンドン



工事前の市の南東部、何も無い



市壁の一部を壊して基礎に使う



現在

◇ ローマ時代の市壁の南東隅の一部を壊して基礎として使用した。ヨーロッパ 100 名城に書かれている「当初のモットを撤去し・・・」と言うのは間違いである。塔の最上階には王の部屋はなく、同じサイズの部屋が 2 室あるが目的は不明。